

2023 年度報告事項

事業報告

1. 2023 年度優秀業績の表彰

2023 年度優秀業績については慎重に検討された結果、

迎 寛 氏（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科呼吸器内科学分野（第二内科））

「Comparative study of bacterial flora in bronchoalveolar lavage fluid of pneumonia patients based on their pneumonia subtypes and comorbidities using 16S ribosomal RNA gene analysis」(Journal of Infection and Chemotherapy 2022 Vol. 28、No. 10 p1402-1409)

以上、1 件に二木賞が授与されることとなった。

中久保 祥 氏（北海道大学医学研究院呼吸器内科学教室）

「Associations of COVID-19 symptoms with omicron subvariants BA.2 and BA.5, host status, and clinical outcomes in Japan: a registry-based observational study」(The Lancet Infectious Diseases 2023; Vol. 23 p1244-56)

上記の研究業績に対して日本感染症学会北里柴三郎記念学術奨励賞が授与されることとなった。

2. 講演会

令和 5 年 4 月 28 日～4 月 30 日、第 97 回学術講演会を四柳宏会長のもと第 71 回日本化学療法学会学術集会（吉田正樹会長）と合同開催としてパシフィコ横浜ノースおよび WEB 配信で行われた。

参加人数：5,592 人

招請講演 6 題、特別講演 6 題、教育講演 25 題、特別企画 10 題、シンポジウム 34 題、ジョイントシンポジウム 1 題、JaSA ジョイントシンポジウム 1 題、ワークショップ、Meet the Expert 12 題、共催シンポジウム 3 題、ランチョンセミナー 19 題、イブニングセミナー 2 題、男女共同参画推進委員会企画 1 題、Accepted paper セッション 1 題、第 38 回症例から学ぶ感染症セミナー 1 題、第 5 回臨床研究促進助成中間報告 1 題、第 66 回抗菌薬適正使用生涯教育セミナー、第 415 回 ICD 講習会、各種委員会報告、市民公開講座（5 月 27 日、東京国際フォーラム）
一般演題 507 題（口演：感染症 260 題・化療 71 題、ポスター：感染症 117 題・化療 59 題）

3. 地方会

・第 72 回東日本地方会学術集会は、令和 5 年 10 月 25 日～10 月 27 日の 3 日間、竹村弘会長のもとで第 70 回日本化学療法学会東日本支部総会（時松一成会長）と合同開催として東京ドームホテルおよび WEB 配信で行われた。

特別講演 2 題、招請講演 3 題、緊急セミナー 1 題、教育講演 23 題、シンポジウム 23 題、若手研究者シンポジウム 1 題、日本フェージセラピー研究会共催シンポジウム 1 題、新薬シンポジウム 1 題、共催シンポジウム 1 題、ベーシックレクチャー 1 題、ICD 講習会 1 題、症例から学ぶ感染症セミナー 1 題、抗菌薬適正使用生涯教育セミナー 1 題、教育セミナー 12 題、アフタヌーンセミナー 3 題、講座配属大学生セッション
一般演題 238 題（感染症：163 題、化療：75 題）

参加人数 2,227 名

・第 93 回西日本地方会学術集会は宮良高維会長、下野信行会長のもとで令和 5 年 11 月 9 日～11 日の 3 日間、第 71 回日本化学療法学会西日本支部総会（山本善裕会長）と合同開催で富山国際会議場・ANA クラウンプラザホテル富山および WEB 配信で開催された。

特別講演 3 題、会長講演 3 題、教育講演 9 題、感染症入門講座 5 題、シンポジウム 15 題、合同シンポジウム 1 題、パネルディスカッション 5 題、抗菌薬適正使用生涯教育セミナー、受賞講演、ICD 講習会、感染症セミナー、共催シンポジウム 2 題、共催セミナー 17 題、学術奨励賞選考セッション
一般演題：359 題（口演：感染症 157 題・化療 62 題、ポスター：感染症 87 題・化療 53 題）
（学部生セッション、大学院生セッション、初期研修医セッション、後期研修医セッション、検査技師セッション、看護師セッション、薬剤師セッション）

参加人数 1,780 名

4. 雑誌刊行

1) 感染症学雑誌

第 97 巻 1 号より逐次刊行した。

2) Journal of Infection and Chemotherapy

Vol. 29, No. 1 より逐次刊行した。

インパクトファクター 2022 年度：2.2

JIC Award 2023 (Vol. 29 p150-6)

Yohei Doi, *et al.*

Favipiravir for symptomatic COVID-19: A nationwide observational cohort study

JIC Reviewer of the Year 2023

伊東直哉 先生（愛知県がんセンター感染症内科）

岩永直樹 先生（長崎大学病院呼吸器内科）

5. 感染症専門医審議委員会

1) 感染症専門医試験合格者 69名

(敬称略)

明石 祐作	朝鳥 大介	安達 迪子	池尻 薫	伊藤 裕也	今井 悠	岩本 伸紀	梅村 啓史
蛭子 洋介	大串 汀	大島 良	大城 亮作	大橋 祐介	大山 晃司	尾田 正仁	小野 宏
笠松 丈人	加藤 幹朗	亀谷 航平	河内 宣之	川村 隆之	窪田 佳史	栗原恵理佳	小泉 陽介
阪口 正洋	櫻井 彩奈	佐藤 高広	佐藤ルプナ	佐野 将宏	渋谷 晃子	下田 真史	白石研一郎
新福 響太	鈴木 翔二	住吉 誠	曾根 尚之	高橋 崇真	知光 祐希	土屋 真希	堤 武也
中澤 愛美	成田 知大	長谷川千尋	長谷川雄一	畑中 志郎	原 靖果	樋口 徹	平山 果歩
福盛 勇介	藤井 元輝	藤沢 篤夫	戸来 依子	細川 貴弘	増田 真吾	水間 悟氏	三ツ井美德
椋田 権吾	元林 寛文	森島 雅世	森田 諒	山口 貴則	山下 武志	山田 玄	山谷 昂史
八幡(福岡) 里紗		横山 貴士	吉田 將孝	吉原 花子	渡邊 弘樹		

2) 更新者 326名(令和6年1月1日現在専門医数 1,820名)

3) 指導医 61名

4) 感染症専門医認定研修施設 336施設(ホームページ参照)

6. 保険委員会

- 1) エタンブトール錠の国内供給に不足が生じる可能性について、日本結核・非結核性抗酸菌症学会、日本呼吸器学会、日本感染症学会、日本化学療法学会の四学会合同で声明文を各学会HPに掲載した(2023年4月3日)。
- 2) 「社会全体における適正な消毒の実施に関する提言 -感染対策に有効な雑品の適切な活用に向けて-」を日本環境感染学会、日本化学療法学会、日本臨床微生物学会との連名で内閣感染症危機管理統括庁感染症危機管理担当大臣、内閣感染症危機管理監、経済産業大臣、厚生労働大臣、消費者庁長官宛で提出した。
- 3) 抗微生物薬の安定供給に向けての嘆願書を厚労大臣に提出した。(2023年12月20日)
- 4) 薬剤の出荷調整・供給停止・不採算等について検討した。
- 5) 内科系学会社会保険連合を通して診療報酬改定に向けて提案した。
- 6) 医療事故調査・支援センターからの依頼に協力した。

7. ガイド・ガイドライン関連

- 1) JAID/JSC 感染症治療ガイド2023を刊行
- 2) MRSA 感染症の診療ガイドライン2024を作成中

8. 学際化国際化委員会

- 1) 学際化
・JaSAとして敗血症セミナーを3回(2023年5月14日、9月10日、12月9日)開催
- 2) 国際化
・第97回日本感染症学会学術講演会
招請講演1(IDSA)、招請講演2(ESCMID)

9. 臨床研究促進委員会

- 1) 第7回日本感染症学会臨床研究促進助成(2024年度)
受賞者:加藤早紀氏(名古屋大学大学院医学系研究科呼吸器内科学)
研究課題:術後感染症治療および予防のための宿主免疫応答解析と新規免疫療法ストラテジーの開発
第7回日本感染症学会臨床研究促進助成(2024年度)
受賞者:福島伸乃介氏(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病原細菌学)
研究課題:メチシリン感受性黄色ブドウ球菌におけるCefazolin inoculum effect (CInE)の探索的疫学研究とCInE迅速検出法の臨床への導入に関する検討
- 2) シンポジウム開催
第97回日本感染症学会学術講演会
シンポジウム:あなたの日常診療を科学にしよう
Accepted Paper Session - 臨床研究の着想から論文アクセプトまで成功体験を共有する -
- 3) レジオネラ症診断における尿中抗原検査と臨床的特徴に関する全国サーベイランス研究事業については、症例収集している。
- 4) COVID-19重症化因子探索事業について、論文投稿中。

10. 検査関連

- 1) インフルエンザ核酸検出検査の有効活用に向けた提言(2023年3月1日)
(日本感染症学会感染症遺伝子検査委員会・日本臨床微生物学会感染症領域新規検査検討委員会)
- 2) 急性咽頭・扁桃炎診療の抗菌薬適正使用におけるA群β溶血性連鎖球菌核酸検査の有効活用に向けた提言(2023年7月10日)
(日本感染症学会感染症遺伝子検査委員会・日本臨床微生物学会感染症領域新規検査検討委員会)
- 3) 感染症検査AI委員会発足

11. インフルエンザ委員会

- 1) キャップ依存性エンドヌクレアーゼ阻害薬 パロキサビル マルボキシル(ゾフルーザ®)の使用についての新たな提言(2023年3月20日)

- 2) 2023/24 シーズンにおけるインフルエンザワクチン等の接種に関する考え方 (2023 年 9 月 25 日)
 - 3) キャップ依存性エンドヌクレアーゼ阻害薬バロキサビル マルボキサシル (ゾフルーザ®) の使用についての新たな提言 (2023 年 11 月 27 日改訂)
12. ワクチン委員会
 - 1) 「65 歳以上の成人に対する肺炎球菌ワクチン接種に関する考え方 (第 4 版)」 (2023 年 4 月 10 日)
 - 2) 「COVID-19 ワクチンに関する提言 (第 7 版)」 (2023 年 6 月 16 日)
 - 3) 「6 歳から 64 歳までのハイリスク者に対する肺炎球菌ワクチン接種の考え方」第 2 版 (日本呼吸器学会感染症・結核学術部会ワクチンWG / 日本感染症学会ワクチン委員会/日本ワクチン学会・合同委員会) (2023 年 9 月 15 日)
 - 4) 「COVID-19 ワクチンに関する提言 (第 8 版) - オミクロン株対応 1 価ワクチン (XBB.1.5) を中心に -」 (2024 年 1 月 5 日)
 13. 気道感染症抗菌薬適正使用委員会
 - 1) 気道感染症の抗菌薬適正使用に関する提言 (改訂版) (ダイジェスト版) を 2023 年 8 月 1 日に HP に公開した。
 - 2) 「上気道感染症に対する抗菌薬処方に関連する因子および抗菌薬適正使用のための教育効果についての調査」 2023 年 9 月 14 日～25 日にアンケートを実施した。
 14. 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 関連
 - 1) 日本化学療法学会と合同で「新型コロナウイルス感染症治療薬の費用負担に関する要望書」を加藤厚労大臣に提出した。
 - 2) 「新型コロナウイルス感染症治療薬の公費支援の継続 および 高齢者肺炎球菌ワクチン接種の経過措置の継続」に関する要望書を令和 6 年 2 月 8 日に武見敬三厚労大臣に提出した。
 - 3) 「妊婦にとって禁忌とされている新型コロナウイルス感染症治療薬の処方並びに調剤に関する合同声明文」
 15. 四学会合同抗菌薬感受性サーベイランス委員会
歯科口腔外科、*Clostridioides difficile*
 16. 四学会合同事業セミナー
ポストコロナのリセット戦略 (2023 年 10 月 8 日、WEB 開催)
 17. ICD 制度協議会
新規認定者 74 名 有資格者数 3,324 名 (当学会推薦)
 18. FUSEGU2020
 - 1) 市民公開講座「かぜに抗菌薬は効かないの? - あなたが行う薬剤耐性 (AMR) 対策 -」 (2023 年 5 月 27 日開催)。
 - 2) 2022 年 12 月 21 日に市民公開セミナー「親子で考える感染症対策 ～ウィズコロナでの新しい生活様式について～」のレポートを 2023 年 9 月 28 日に HP にて公開した。
 19. 厚生労働行政推進調査事業費補助金 (新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業) 「新型コロナウイルス感染症による医学・医療・健康に与えた中長期的影響の調査研究 - 今後の保健・医療体制整備の観点から - (23HA2011)」 (門田班) の事業に協力した。研究題目: COVID-19 罹患後症状を有する患者の診察状況に関する調査

庶務報告

1. 会員数 正会員: 10,791 名 賛助会員: 20 件 令和 6 年 2 月 29 日現在
除名については該当者無し
2. 第 97 回日本感染症学会総会は令和 5 年 4 月 29 日、パシフィコ横浜ノースにて行った (ハイブリッド)。
3. 令和 5 年度評議員会は令和 5 年 4 月 28 日、パシフィコ横浜ノースにて行った (ハイブリッド)。
4. 理事会は 5 回行った。必要に応じて都度メール審議を行った。
5. 感染症学雑誌編集委員会 4 回会議を行った。
Journal of Infection and Chemotherapy 編集委員会は 1 回 WEB 会議を行った。
6. 学会賞選考委員会は 1 回行った。
7. 専門医関連委員会は 6 回会議を行った。
8. 男女共同参画推進委員会は 1 回 WEB 会議を行った。
9. COVID-19 臨床研究 ad hoc 委員会関連: 5 回、レジオネラ検討委員会関連: 3 回 WEB 会議を行った。
10. 感染症検査 AI 委員会: 4 回 WEB 会議を行った。
11. 感染症遺伝子検査委員会は 1 回 WEB 会議を行った。
12. 気道感染症抗菌薬適正使用委員会は 1 回 WEB 会議にて行った。
13. 100 周年記念事業実行委員会は 1 回 WEB 会議にて行った。
14. その他の委員会については、メール審議を行った。